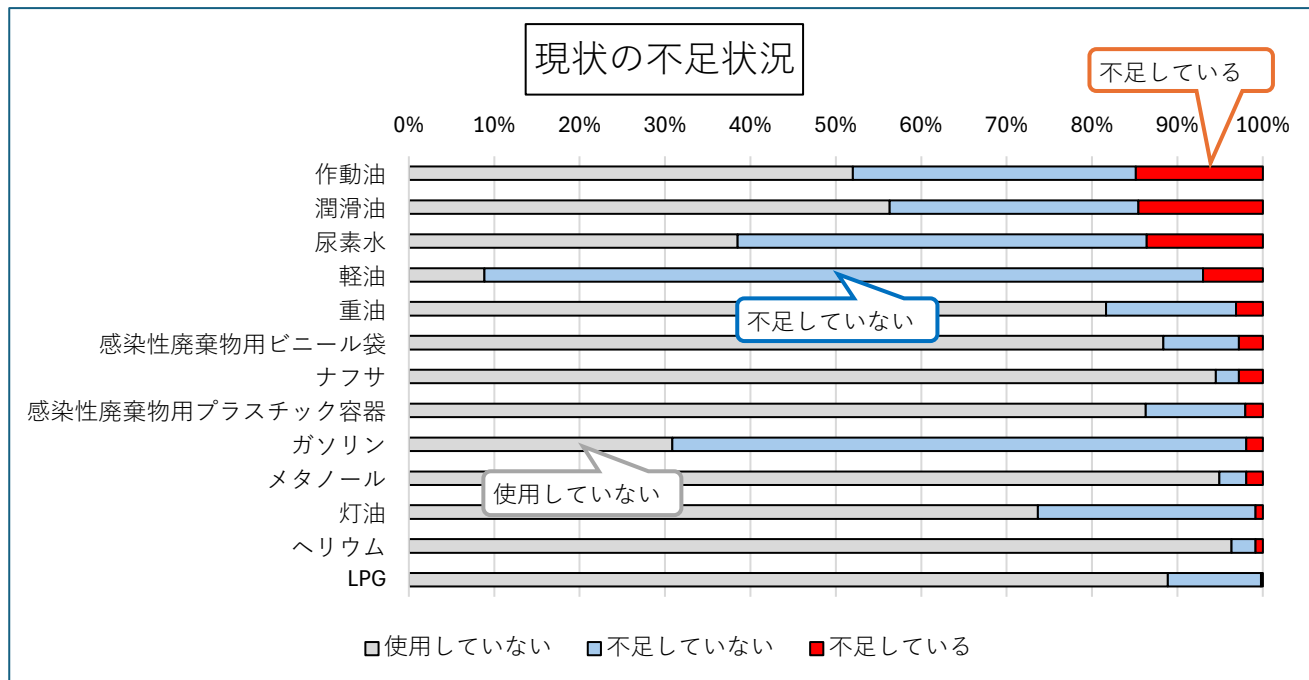


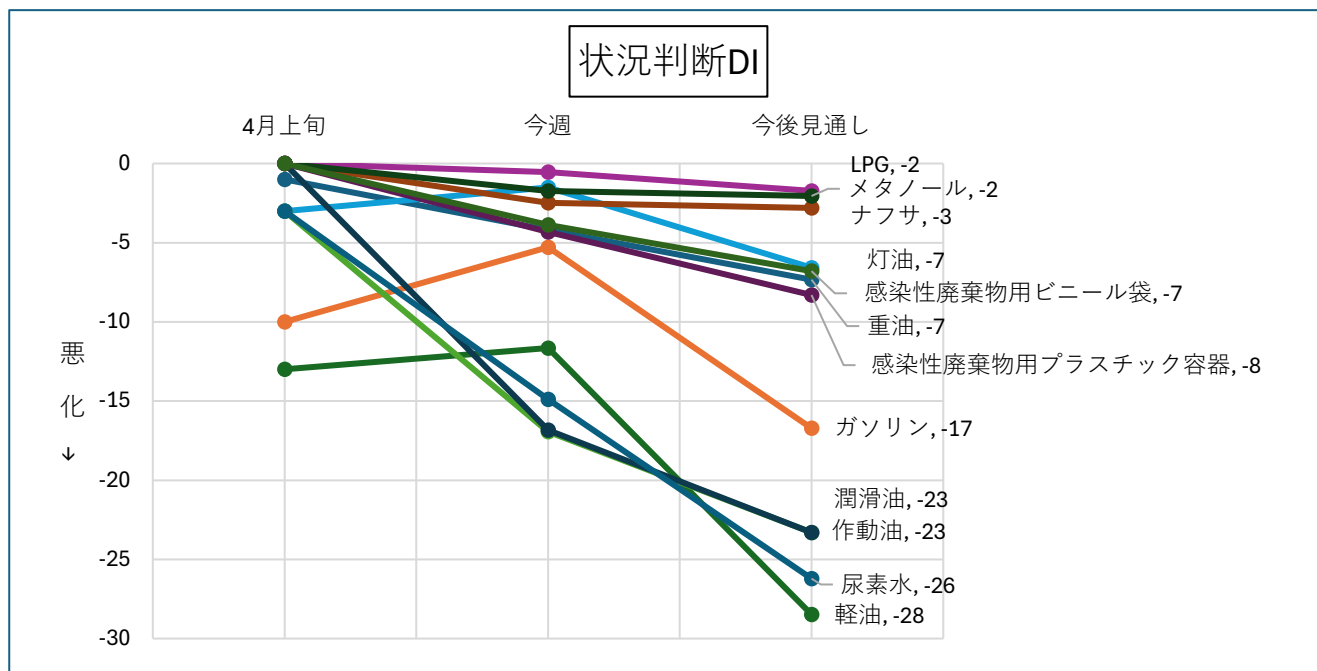
廃棄物処理に必要な燃料油・石油製品の供給・調達状況に係る調査

公益社団法人全国産業資源循環連合会

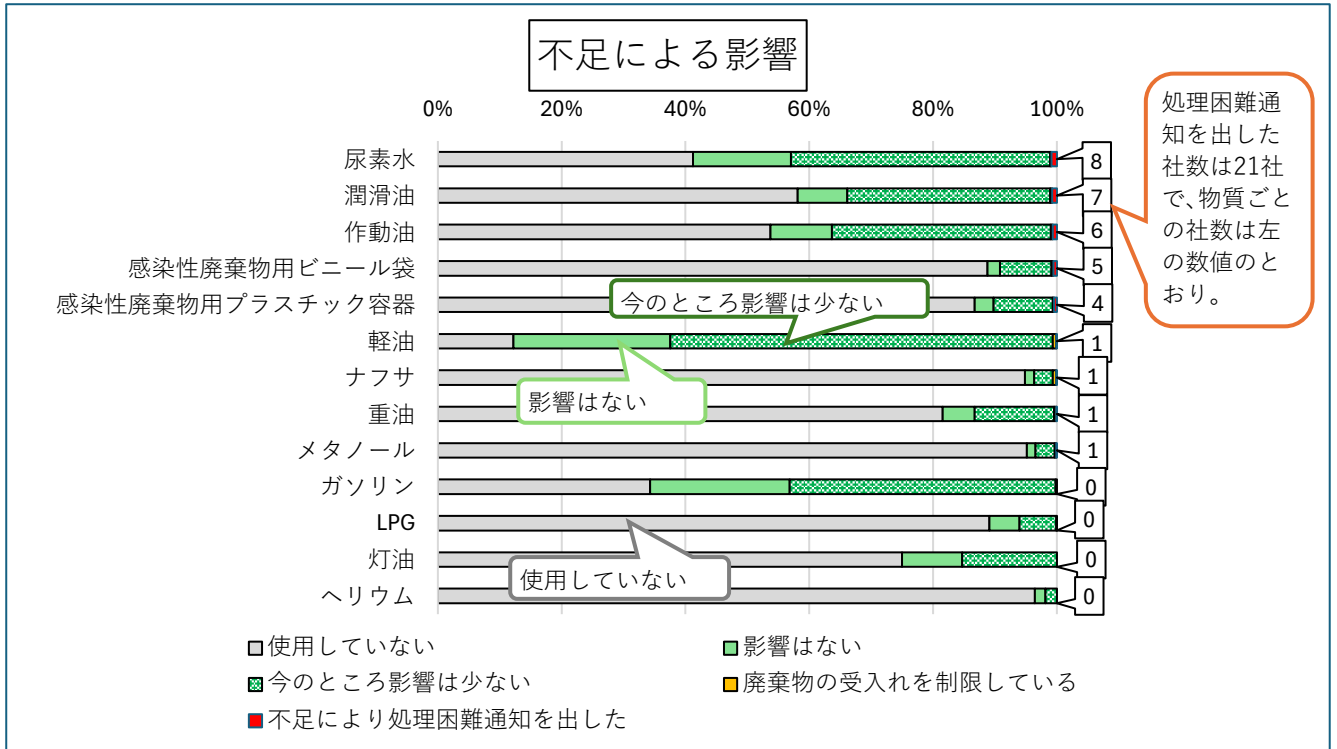
【調査期間：4月23日~30日、回答数：927件】



不足しているとの回答の多い物質は 作動油、潤滑油、尿素水（アドブルー）、軽油の順である。



状況判断 DI でみると、4月上旬（4月6日~10日）に対して今週（4月23日~30日）は「横ばい」もあるが、多くの物質が「悪化」となった。また今後の見通しは、更に「悪化」という結果となった。



前ページに示す通り不足はしているものの、「影響はない」「今のところ影響は少ない」という会社が大半である。しかし社数は少ないが「廃棄物の受入を制限している」「不足により処理困難通知を出した」と回答の会社も出てきている。

(※業種は複数選択のため重複している)

	全体	収集運搬業	中間処理業	最終処分業	特管収集運搬業	特管処分業
廃棄物の受入れを制限している	14社(1.5%)	13社	9社	0社	3社	1社
不足により処理困難通知を出した	21社(2.3%)	20社	13社	0社	5社	1社

参考として「不足により処理困難通知を出した」という回答の内容は以下のとおりであった。

尿素水 (アドブルー)	収集運搬業 (特管含む) 8社
潤滑油	収集運搬業 (特管含む) 7社
作動油	収集運搬業 (特管含む) 6社
感染性廃棄物用ビニール袋	特管収集運搬業 5社
感染性廃棄物用プラスチック容器	特管収集運搬業 4社

以上